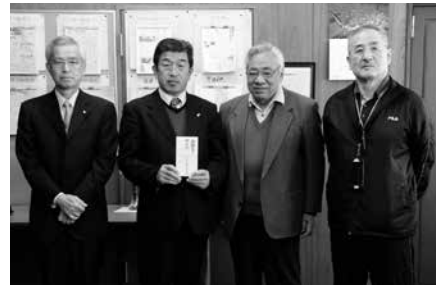


12/25 長洲中学校第19期生寄付
後輩たちのために

長洲町立長洲中学校の第19期生(浦邊朝章代表)は、船津巧校長へ寄付金の贈呈を行いました。

これは、今年の3月で卒業後50年の節目を迎えることを記念して行われたもので、学校を訪れた第19期生のメンバーから「学校のために使ってほしい」と贈られたものです。寄付を受けた同中学校の船津校長は「子どもたちのために、大切にに使わせてもらいます」と話しました。



▲寄付をした第19期生と受け取った船津校長(左から2番目)

1/1 清源寺神楽保存会
天満宮で年越し神楽を披露

清源寺神楽保存会(田上正二会長)では、大みそかから元旦にかけ、清源寺天満宮で神楽を行いました。当日は、年越し前から神楽の舞が始まり、除夜の鐘が鳴り響くころには、多くの人が参拝に訪れ、神楽に見入っていました。また、境内では、おしるこも振る舞われ、寒空の下、参拝客は温かいおしるこをおいしそうに食べていました。



▲神楽の舞と祈願する参拝者

1/11 ミニトマト無料配布
1/17 長洲産ミニトマトでおもてなし

1月11日に開催された「長洲マラソン大会」と17日に開催された「的ばかい」において、来場者へのおもてなしとPRを目的に「長洲産ミニトマト」と「ふれきんちゃんのしおり」の無料配布を行いました。当日は、県内外から多くの人が長洲町を訪れ、ミニトマトを受け取った人は「長洲町がミニトマトの産地であることを初めて知りました!」「ものすごく甘くて美味しい!」と喜ばれ、大好評のうちに終了しました。



▲大好評だった長洲産ミニトマトのおもてなしとPR

12/20 高田区もちつき
おいしいもちができたよ!

高田区(坂本勝博区長)では、区の小学生を中心に子どもたちが集まり、もちつきを行いました。はじめてきねでもちをついた子どももいて、つきたてのおもちを頬張りながら「おもちゃってこんな風にしてできるんだね」、「きねが思ったより重かった」と笑顔で話しました。



▲一生懸命にもちをつく子どもたち

12/26 第1回熊日長洲販売センター小学生サッカー大会
町内の小学生がサッカーで交流

第1回熊日長洲販売センター小学生サッカー大会(熊日長洲販売センター・長洲町サッカー協会主催)が、金魚と鯉の郷広場で行われました。

この大会は、芝生でサッカーをする楽しさと町内小学校の交流を目的に開催されました。

町内3校のサッカー部員約100人が参加し、各学年の総当たり戦やボールリフティング大会でサッカーを楽しみました。



▲芝生のグラウンドで競い合う選手たち

1/11 磯町区「磯の館」で的ばかい「的づくり」
今年も立派な的が完成!

磯町区介護予防拠点施設「磯の館」で的ばかいの的づくりが行われました。当日の作業には、地域住民約30人が参加。もち米のわらを縄状にねじったものを円形状に編み上げ、直径約60cm、重さ6kgの立派な的が完成しました。

毎年、的づくりに携わっている浦島義弘さん(磯町区)は「今年は若い力も加わり、立派な的ができました。後継者も育てながら、長洲町の伝統を伝えていきたい。」と的を抱えて笑顔を見せました。



▲時間をかけて丁寧に編み上げられていく的

12/6 熊本県人権メッセージ表彰式
宮本稀彩さんが入賞

熊本県人権フェスティバル(熊本県主催)の人権メッセージ優秀作品の表彰式が、ホテル熊本テルサで行われました。これは、中学生が人権尊重の重要性・必要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身につけることを目的に実施されているもので、今回、県内から約15,000点の応募があり、宮本稀彩さん(建浜区)が「熊本県教育委員長賞」を受賞しました。



▲受賞した宮本稀彩さん

12/20 第11回長洲町小学校ミニバスケットボール交流大会
バスケットを通じて交流を

第11回長洲町小学校ミニバスケットボール交流大会(長洲町バスケットボール協会主催)が、腹栄中学校体育館で開催され、町内4小学校のミニバスケットボール部が出場しました。選手たちは、最後まで一生懸命コート走り回り、白熱した試合が行われました。なお、結果は次のとおりです。
チャンピオンシップの部 優勝 長洲Aチーム
フレンドリーシップの部 優勝 長洲Bチーム
キッズの部 優勝 長洲Cチーム



▲ゴール前の激しい攻防

11/27 宮ノ町区ふれあいツアー
秋の一日を世界遺産で

宮ノ町区(猪本一男区長)では、区のふれあいツアーとして、紅葉狩りを開催しました。当日は、15人の区民が参加し、荒尾市の万田坑を訪れて、世界遺産を堪能。猪本区長は、「普段、なかなか行かないが、区民の皆さんと一緒にゆっくりと万田坑を見ることができて良かった。ガイドから詳しい説明があり、万田坑のことがよくわかった」と話しました。



▲ガイドの説明に耳を傾ける参加者

12/13 熊本県少年柔道場連盟会長杯
長洲柔道塾が3位入賞

第41回熊日学童オリンピック柔道大会、第43回熊本県下少年柔道錬成大会(熊本県柔道協会主催)が、山鹿市総合体育館で開催され、県内から多くの選手が参加しました。大会では、各団体戦のほか「県少年柔道場連盟会長杯」が行われ、参加した選手たちは、日頃の鍛錬の成果を発揮して最後まで全力で挑み、「長洲柔道塾」が県少年柔道場連盟会長杯において、3位入賞を果たしました。



▲3位入賞を果たした選手たち

12/22 2015中華民国第46回世界児童画展
長洲町から3人が入賞

このほど開催された、「2015中華民国第46回世界児童画展」(中華民国児童美術教育学会主催)において、町内の小中学校から3人の児童・生徒が入賞し、中逸町長が表彰状を手渡しました。
この世界児童画展は、子どもたちの感性と理性の調和のとれた成長を願い、子どもが自ら創り出す造形文化の推進支援と国を超えて世界の人々をつなぐ国際相互理解を目的として開催されています。
なお、受賞者は次のとおりです。

〈入 選〉				
長洲小学校	4年	松山	奈々瀬	
腹栄中学校	1年	杉本	百霞	
	3年	牧嶋	仁志	



▲受賞した松山さん(中央)



▲受賞した牧嶋くん(左から2番目)と杉本さん(右から2番目)

12/25-28 長洲ふるさと塾！
地域の資源を活かした学習を開催

町では、地域の小学生を対象に、六栄、腹赤、長洲、清里の各校区で「長洲ふるさと塾！」を開催しました。これは、町内の4つの小学校区が持つ地域特有の自然豊かな資源を活用することで、地域の子どもは地域で育て、社会全体で子どもを健やかに育てていくことを目的としているものです。

参加した子どもたちは、普段、授業で習わないような体験に大よろこび。「知らないことを知れてよかった」「冬休みの思い出になった」などと話していました。



六栄校区（落語体験）



腹赤校区（歴史探索）



長洲校区（野鳥観察）



清里校区（科学実験）

1/9 九州初！ 第1回木育・森育楽会九州大会
「ものづくり」の楽しさをみんなに！



第1回木育・森育楽会九州大会（木育・森育楽会実行委員会主催）が、ながす未来館で行われました。

これは、木や森の教育に関心を持ち、行動しようとする各団体が連携し、木育・森育に関するネットワークをつくることを目的としており、この日は、「木育」に取り組む各団体の活動報告のほか、実際に木育体験ができる「ものづくりフェア」も開催され、家族連れなど多くの人々が参加して楽しみました。

九州大会の主催者である熊本大学教育学部の田口浩継教授は「熊本県の木育に対する取り組みは、他県と比べると進んでいるが、産官学民が連携して、これからさらに推進させていきたい」と話しました。



1/19 長洲小学校ノリ手すき体験教室
ノリの作り方がわかったよ

長洲・牛水地域干潟保全会（上田浩次代表）が、長洲小学校で「ノリ手すき体験」を行いました。この日は、上田代表が5年生43人にノリ養殖についてわかりやすく説明した後、実際に「ノリ手すき」の体験が行われました。参加した児童は「ノリがこうやって作られているのは知らなかった」と話し、保全会から焼いたノリが配られると「おいしい」とうれしそうに食べていました。



▲説明を聞きながら体験する児童

1/14 金魚の初競り
競りの掛け声威勢よく！

村木養魚場（梅田区）では、金魚とニシキゴイの初競りが行われ、九州内外から多くの愛好家が訪れました。この競りは、現在、西日本で唯一ここだけで行われているもので、当日は、金魚やコイなど約2万匹が出品されました。参加した人たちは、流れてくるコンテナに入った様々な観賞魚を真剣なまなざしで見定め、希望の商品を次々と落札していました。



▲金魚を品定めする参加者

地域だより どんどや

1/10 宮崎区（城戸勝博区長）



1/10 折地区（児玉清一区長）



1/10 鷺巣区（城戸邦晴区長）



1/11 宝町区（小裏勝廣区長）



1/16 新山区（島永邦生区長）



燃え盛る炎に
無病息災を
願って

「どんどや」とは、正月飾りなどを各家庭から持ち寄り、一カ所に積み上げて燃やす日本全国に伝わる火祭りです。無病息災・五穀豊穡を祈る伝統的な行事です。

長洲町では、1月10日から16日にかけて、各行政区で伝統行事のどんどやが行われました。当日は、子ども会や老人会、消防団など、多くの区民が参加し、竹やわら、正月飾りなどが高く積み上げられたやぐらに火がつけられ、大きな炎が舞いあがると、竹のはじける音が響き渡り、参加した人々から大きな歓声が上がりました。

どんどやを行った行政区では、「皆さんの協力でこそできて良かった」「残り火で焼いたもちを使ったぜんざいおいしいと評判だった」「どんどやが子どもたちの心に故郷の思い出として残ってくれることを祈ります」「どんどやをこれからも絶やすことなく守り続けていきたい」などと笑顔で話しました。

長洲町では、1月10日から16日にかけて、各行政区で伝統行事のどんどやが行われました。当日は、子ども会や老人会、消防団など、多くの区民が参加し、竹やわら、正月飾りなどが高く積み上げられたやぐらに火がつけられ、大きな炎が舞いあがると、竹のはじける音が響き渡り、参加した人々から大きな歓声が上がりました。